

移民執行当局の訪問調査または「レイド（強制捜査）」の 手順について

移民執行当局の訪問調査は、予告なしに行われることがあります。最も一般的なのは法律関係書類の監査です。場合によっては、証拠の収集や特定の人物の捜索を目的として、移民局の捜査官が来訪することもあります。このガイドを活用して移民執行局の訪問調査に備え、対応方法を把握しておきましょう。

国土安全保障省は、以下のような形で移民法を執行します。

- **国土安全保障省捜査局（HSI）**が、雇用主のフォーム I-9（就労資格証明書）やその他の書類が法令に遵守しているかどうかを調べます。
- **移民税関捜査局（ICE）**は移民法の執行機関で、非市民を拘束または強制送還することができます。ICE 捜査官は警察官ではありませんが、銃の携帯が認められており、「Police（警察）」や「ERO（強制送還担当）」と書かれた服を着用していることもあります。
- **税関国境警備局（CBP）**は国境に配置されており、米国に入国しても良いかどうかの判断をします。陸路や海上の国境線から 100 マイル以内の地域に国境警備隊員を配置して、検問や聞き取り調査を行うこともあります。
- **米国市民権移民局（USCIS）**は移民の就労関連スポンサーシップ（身元保証）の監査を行います。職場訪問をすることもあります。

ICE やその他の移民局捜査官による訪問調査に備えるために・・・

- フォーム I-9 やその他の移民関連書類が完全かつ正確であることを確認しておきましょう。フォーム I-9 の内部監査を行い、誤りがあれば訂正しておきましょう。
- 移民局捜査官との対応窓口として、人事部門や法務部門などの担当者または特定の部署をあらかじめ決めておきましょう。
- 「Private（私有区域）」と標示した区域を設けて、移民局捜査官が許可証や令状なしに立ち入れないようにしておきましょう。
- 社会保障局（SSA）から「No-Match レター（雇用主が提出した従業員の社会保障番号が社会保障局のデータと一致しないという通知）」を受け取った場合は、どのように解決しようとしているのかについて、きちんと記録しておきましょう。

ICE やその他の移民局捜査官がやって来たら・・・

- まず落ち着きましょう。できるだけ捜査官の名前を覚えて、状況を注意深く観察しましょう。

免責事項：これは Davis Wright Tremaine LLP, DWT -

com が発行した文書で、法律に関する最新動向を同事務所のクライアントおよび関係者に知らせるために作成されました。法律上の助言を提供する文書ではありません。

この文書を翻訳したのはシアトル市ですが、内容はシアトル市が作成したものではありません。法律事務所 Davis Wright Tremaine LLP が発信している情報になります。

Davis Wright Tremaine LLP Immigration Group

dianebutler@dwt.com | 206-757-8354 | meganvogel@dwt.com | 206-757-8258

- 公共区域への立ち入りは認めましょう。あなたの事業の公共区域には、(ICE 捜査官を含め)誰でも自由に立ち入ることができます。公共区域とは、ロビー、受付、フロントオフィス、駐車場、一般に開放されている区域などを指します。捜査官には身分証明書の提示を求めましょう。後ほど連絡できる電話番号を尋ね、調査の理由が書かれている通知書の提示も求めましょう。人事部や管理職、会社の顧問弁護士、社内の担当者(あらかじめ指定)などに連絡を入れましょう。

具体的な書類に関する説明

- **調査通知書 (Notice of Inspection)** – ICE または国土安全保障省 (Homeland Security) が「3 営業日以内にフォーム I-9 を見せてほしい」と求めている文書です。返答する前に、必ず顧問弁護士に相談しましょう。
- **移民法執行の召喚状 (Immigration Enforcement Subpoena)** – 通常は「フォーム I-9 と共に他の書類も見せてほしい」と求めている文書です。
- **司法令状または搜索令状 (Judicial Arrest or Search Warrant)** – 連邦裁判所の判事または裁判官が署名した令状です。この令状があると、ICE の捜査官が私有区域に立ち入ったり、書類を持ち出すことができます。令状をよく読みましょう。合法的なものであることを確認し、令状に記載のない内容については同意しないようにしましょう。
- **行政令状 (Administrative Warrant)** – 通常は「Department of Homeland Security (国土安全保障省)」または「Immigration and Customs Enforcement (移民税関執行局)」と記載されています。フォーム I-200 またはフォーム I-205 に該当します。裁判官の署名がある有効な令状や召喚状がない場合は、雇用主として「I cannot consent (同意できません)」または「I do not consent (同意しません)」と伝えましょう。ICE が従業員の氏名入りの行政令状を提示した場合は・・・
 - あなたには、その従業員がその日出勤しているかどうかを答える義務はありません。
 - あなたには、令状に記載された従業員の居場所へ ICE 捜査官を案内する義務はありません。
- **ICE が押収した物品の領収書** – ICE が書類などを押収した場合、ICE は押収品すべてを記載した領収書を会社に渡す義務があります。

免責事項：これは Davis Wright Tremaine LLP, DWT – com が発行した文書で、法律に関する最新動向を同事務所のクライアントおよび関係者に知らせるために作成されました。法律上の助言を提供する文書ではありません。この文書を翻訳したのはシアトル市ですが、内容はシアトル市が作成したものではありません。法律事務所 Davis Wright Tremaine LLP が発信している情報になります。

Davis Wright Tremaine LLP Immigration Group
dianebutler@dwt.com | 206-757-8354 | meganvogel@dwt.com | 206-757-8258

訪問調査が行なわれている間、従業員に伝えることは・・・

- 従業員には落ち着くように言い聞かせ、その場から逃走しないように伝えましょう。ICE 捜査官は逃走する人物を追跡したり、移民法違反の疑いがある人物を逮捕することもあります。
- ICE 捜査官が行っていること（彼らが許可されている行動）を妨げない限り、動画撮影や音声録音をしても差し支えありません。
- 司法令状があれば ICE は携帯電話やノートパソコンなどを押収できますが、写真撮影やデータのスキャンだけをして、機器を持ち出さないこともあります。
- ICE が誰かの行動を阻止したり、尋問や逮捕をしたり、社内の至るところに立ち入ったり、あらゆる物を持ち出そうとしたりすることには、同意しないようにしましょう。
- ICE 捜査官に個人の在留資格や出身国を伝えたりするなど、捜査官の手助けをしないようにしましょう。
- すべての従業員には黙秘権があり、弁護士を要求する権利があります。従業員には、身分証明書や書類を ICE に渡す義務はありません。
- 従業員が ICE に提供した情報が、のちに本人にとって不利な目的で使われることがあります。
- 万一逮捕された場合は、必ず弁護士の任命を要求し、「Show Cause Hearing（拘束理由の説明を求める審問）」も要求してください。

訪問調査後、すぐにすべきことは・・・

- 捜査官が立ち去った後、以下の内容を書き留めるか、記録しておきましょう。
 - 建物の内外にいた ICE 捜査官の人数捜査官の氏名
 - 捜査官の服装捜査官がどのような武装をしていたか。
 - 捜査官が、あなたや従業員に「その場から動くな・立ち去るな」と思わせるような態度や言動をしたかどうか。
 - 捜査官が誰かを脅したり、不適切な対応をしたかどうか。上記のような行為があったら、その詳細を記録しましょう。
- ICE が誰かを逮捕した場合、その人がどこへ連れて行かれるかを尋ねてください。
- フォーム I-9 の調査がある場合は、書類の準備をしておきましょう。書類提出までに 3 日以上の猶予を求めることも可能です。

免責事項：これは Davis Wright Tremaine LLP, DWT -

com が発行した文書で、法律に関する最新動向を同事務所のクライアントおよび関係者に知らせるために作成されました。法律上の助言を提供する文書ではありません。

この文書を翻訳したのはシアトル市ですが、内容はシアトル市が作成したものではありません。法律事務所 Davis Wright Tremaine LLP が発信している情報になります。

Davis Wright Tremaine LLP Immigration Group

dianebutler@dwt.com | 206-757-8354 | meganvogel@dwt.com | 206-757-8258